

新春の集い・賀詞交歓会 平成31年1月26日(土)

於：ホテルグリーンタワー幕張

INDEX

| | |
|---------------------|---|
| 新春の集い・賀詞交歓会 | 1 |
| うすい日出男自伝 【序章】つづき | 2 |
| 会員企業訪問 | 3 |
| 例会委員会報告 | 4 |
| スケジュール・編集後記 | 4 |

みんな笑顔で、今年も大賑わい！



平成31年（平成30年度）の月星会・新春の集いは、林威樹直前会長から差し入れていただいたシャンパンの乾杯で始まりました。次々と運ばれて来るお料理は美味しく、円テーブルごとの会話も弾みました。



しばし歓談が続いたあと、親睦委員会が企画した様々な出し物が登場し、集いは次第に盛り上がっていきました。

まず、平成25年に千葉市の地域文化財認定を受けた検見川神社神囃子連の皆様から「天狗の舞」を演じていただきました。新春らしい舞に皆、うっとり見入っていました。

その後、恒例のくじ引きに。くじの景品はいつもの通り、産方恒好相談役兼広報副委員長が経営するフラワーショップ「マリエ」の見たてによる鉢植えの花たち。くじは外れなしなので結局、参加者全員の素敵なお土産になりました。

新春の集いは、和やかな空気と意気揚々とした空気が融合し、明るい雰囲気にならな中締めとなりました。

大先輩の阿佐さんのユーモアたっぷりの司会(私も横で和ませていただきました…笑)と相俟って会場は大賑わいを見



せました。

今年も1年間、皆様、健康で素敵な笑顔でお過ごしくださいませ。

(親睦委員会 中島美香副委員長 記)

広報委員会で一部加筆しています

うすい日出男自伝 【序章】インタビュー編 つづき

父・臼井莊一は千葉県民なら知らない人はいない著名な国会議員だったが、1976年（昭和51年）の衆議院議員選挙で落選。ここで地盤を三男の日出男に譲り、日出男は1980年（昭和55年）に衆議院議員選挙で初当選を果たす。

一方、父はその後、1981年（昭和56年）に行わ

れた参議院議員補欠選挙で自民党公認として出馬・当選し、1983年（昭和58年）まで務めた。

81年から約2年間は、親子鷹の国会議員として衆参両議院で活躍したことになる。

しかし、国会議員の道は日出男の望んだ人生街道ではなかった。

長兄の拒否宣言に始まった議員人生

—— 望んでいたサラリーマンから転じて国会議員になられたのですが、それは本意ではなかった？

臼井 そうですね。大学卒業後に東京日野チーゼルに入社しまして、サラリーマンの道としては大過なく過ごせるかなと思えましたから（笑）。でも、日野チーゼルは、父の口利きで入ったのですよ。実は、自分の力でほかの大企業に受かっていたのですが、結局、父の勧めるほうに入ったという次第です。

—— 仕事は面白かったですか。

臼井 総務部総務課に配属になりましたが、何も知らない、何もできない若造でしかありませんでした。菅さんという課長にイロハのイから教えてもらいました。とても良い上司でしたから、菅さんのおかげで毎日、楽しく仕事をしていたと思います。

—— それがなぜ、議員人生の道を歩むことに？

臼井 父に、千葉に戻って事務所の手伝いをしてほしいと頼まれたのです。仕方なく5年9カ月勤めた日野を辞め、千葉に戻りましたが、議員人生を送ることは全く考えていませんでした。

—— お父様の事務所を手伝うこと以外にはイメージが湧かなかったということでしょうか。

臼井 我が家は代々、映画館の興行などを行う千葉興行を経営していましたから、そちらの手伝いもするのだろうとは考えていました。実際、千葉に戻るとすぐに取締役になってくれました。千葉興行には11歳上の長兄・一世がいましたが、兄はやがて父の後を継ぐのだろうと思っていました。

—— ところが白羽の矢は日出男先生に？

臼井 そういうことです。父の事務所で13年間に亘って秘書を務めました。当時は、今よりも選挙区が広く、



私は市川から我孫子方面を担当して、父の選挙のために活動しました。この13年間で選挙とはどういうものか、勝つためには何が必要かをじっくり勉強しましたね。

—— それは自分自身が選挙に勝つための勉強だったのではなかったのですか。

臼井 結果的にはそうになりましたが、当時はそれでも私が父の地盤を受け継いで衆議院議員の選挙に立つという発想は湧いていませんでした。議員になりたいと思ったこともありませんでした。

—— でも、誰かが承継を考えなければいけない時機に来ていたのでは？

臼井 確かに。でも私はずっと兄が受け継ぐものと思い込んでいたのです。ところが39歳のとき、兄から自分は実業を持っている（千葉興行株の社長）から父の後継者になるつもりがないとはっきり言われたのです。じゃあ誰が？と考えると、私しかいませんでした。自分のこととして国会議員を意識したのはこのときが初めてです。

このときが「国会議員の臼井日出男」の出発点である。それからどういう人生を送ったのか、そこに至るまではどんな人生を送ってきたのか。あとは、自伝の本編に譲ることにしましょう。
（構成・文責／奥平）

第29回 (有)ひえだ商事(磨き屋平兵衛)

妥協はしない、出来ない仕事も断らない！ 地域に根差した事業を着々と

第29回の会員企業訪問は「磨き屋平兵衛」(屋号) (有)ひえだ商事に伺いました。稗田靖雄会長と稗田真司社長が私たちの取材に丁寧に応じて下さいました。(今回から、私・石原が取材および執筆の担当に加わりました。どうぞよろしくお願いたします)

リピーター8割の信頼度

Q 創業の経緯について、また現社長に事業を承継された経緯について教えてください。

会長 もともと私はダスキンの社員から独立して、昭和45年に千葉で創業しました。縁あって娘婿に事業を引き継ぐことができ、今は経営のことは社長に任せています。

社長 私は平成14年に入社し、40歳で社長を継いで、9年目になります。入社する前は建設業界で現場監督を約10年やっていました。現在、当社は囑託のクリーニングスタッフが約40人、ほかに事務や営業などのスタッフが合わせて10名ほどの体制で経営しています。



Q ハウスクリーニング業が中心とのことですが、競争が激しい業界のように思います。御社はどのような点を強みとしていらっしゃるのでしょうか？

社長 私自身が職人気質でもあり、「妥協をせずとことんやる。できない仕事でも断らない」をモットーにしています。Before-Afterが明確なので、事後の報告書もしっかり作成して、作業品質についてはお客様に納得していただいています。おかげさまでリピーターが約8割となっています。

Q 具体的にはどういった注文が多いのでしょうか？また、どのくらいの頻度でプロのサービスを受けたらよいのでしょうか。

社長 やはり夏場はエアコンのクリーニングが非常に多いです。エアコンは稼働の頻度によりますが、年に1回くらいは清掃されるとコンディションもよくなると思います。

遺品整理事業にも進出

Q 磨き屋平兵衛という屋号の由来はあるのでしょうか？

会長 もともと古民家を洗い磨きする職人を「磨き屋」といったところから名前をとりました。「平兵衛」は「平米(m²)」との語呂合わせでつけました。



Q 経営するうえで心掛けていることはどのようなことでしょうか。

社長 当たり前のことを当たり前にする、自分がやられて嫌なことはやらないということです。また地域に根差した企業経営ということで、ボランティア団体に対する人的支援、具体的には地域の草刈りや里山再生のお手伝いをしています。

Q 今後の事業展開についての展望は？

社長 これからニーズがある分野として、遺品整理の事業も始めようと考えており、事業化手前まで準備を進めているところです。

Q 最後に月星会の皆様にメッセージをお願いします。

社長 技術に関しては自信がありますので、清掃に関することは気軽に何でも聞いてください。

家族を中心とした経営ながらしっかりとした経営方針とビジョンをもって、またとてもスムーズな事業承継をされ仲良く、しかし妥協なく仕事に臨む姿勢に感銘を受けました。

(取材・文/石原)

例会委員会報告

平成30年12月例会 12月20日(木)

於：鮪割烹みどり

平成30年12月の例会は新進気鋭の若き女流講師、いちりゅうさいていきょう 一龍齋貞鏡氏をお招きして赤穂浪士義士伝や縁起のいい出世話をしていただきました。



目の前で釈台を張扇で叩く姿や演技は迫力あり話に引き込まれました。

参加者は、会員28名、ビジター7名でした。

ふくろう募金は8340円。



会員異動 新入会



くどう かずひろ
工藤 和博
昭和32年11月12日生

血液型 B型
事業所名 有限会社ブロードサービス
役職 取締役社長
所在地 千葉県若葉区愛生町73-2
TEL. 043-207-4588
FAX. 043-207-4710
携帯電話 090-9340-2150
http://www.broadservice.co.jp
趣味：歌うこと、運動 家族：妻、息子

退会

北原俊彦氏 (株)北原防災)

高齢のため

平成31年2月例会 2月28日(木)

於：鮪割烹みどり

平成31年2月の例会卓話は、林昇志社主に「創業時5坪の〈みどり鮪〉から〈ホテルグリーンタワー〉へ」と題してお話しいただきました。家族で千葉に開拓団として入植し、鮪店の創業からホテル経営に至るまでの経緯には、経営者としての凄みがありました。



一方、さらに迫力があつたのは、マラソンランナーとしてのお話。皆さんもご存知のように、林社主は全国的に有名なシニアアスリートです。マラソンのトレーニングを始めたのは40歳、初めてフルマラソンを走ったのが45歳、58歳のときには河口湖マラソンの55～64歳の部で優勝もしています。

なお、林社主の生き様については、2017年9月の会報つきばし「会員企業訪問」に詳しく掲載されています。

当月例会の出席者は、会員29名(ビジターなし)でした。

ふくろう募金は4724円。

(12月、2月共、吉田光一例会委員長)

3～6月のスケジュール

| | |
|-------------------|---|
| 3/30(土) | 春の宴 11時受付 11時30分開宴 ～桜の下でバーベキュー～ 海浜幕張公園 バーベキュー場 千葉県美浜区ひび野2-113 海浜幕張公園 Bブロック「にぎわいの広場」 参加費 会員 3,000円 ビジター 3,500円 小人 2,000円(未就学児は無料) |
| 4/3(水) | 役員会 18時00分開会 ホテル菜の花 |
| 4/25(木) | 夕食例会 18時30分開会 鮪割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円 |
| 5/8(水) | 役員会 18時00分開会 ホテル菜の花 |
| 5/11(土) ～12(日) | 第2回経営研修会 天空の里 太陽寺 (埼玉県秩父市大滝459) 日頃できない写経や座禅の体験、精進料理、そして大自然を満喫できる露天風呂、満天の星空を堪能します。 参加費 会員 9,500円 ビジター 12,000円 |
| 6/1(土) | 定時総会 ホテルグリーンタワー幕張 ※ 詳細は別途ご案内いたします |

今号から、会員企業訪問の取材・執筆担当に、石原裕久さんが加わりました。今号は、石原さんが担当してくれました。初めての担当なので、ちょっとだけ心配だったのですが、まったく無用な心配でした。前にも少し思ったのですが、石原さんには文才があります。出版社の編集長を長く務めた私が言うのですから間違いありません。今後、会の文章作りが必要になったときは、石原さんが引き受けてくれるでしょう。なお、会員企業訪問は私と石原さん二人で担当しますが、当分は石原さんの担当になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。(奥平)